



平成19年7月の集中豪雨により「がけ崩れ」が発生（油谷地区）

# 自分の命は自分で守る 土砂災害に備えて

6月1日～6月30日は土砂災害防止月間です

日本は山地や谷地、崖地が多く、台風や豪雨に見舞われやすい気象条件であり、土砂災害が発生しやすい環境にあるため、平均で毎年約1000件の土砂災害が発生しています。

土砂災害防止に対する理解と関心を深め、人命や財産などへの被害を防ぐことを目的として、国土交通省および各都道府県では、昭和58年から毎年6月を土砂災害防止月間と定めています。

平成24年7月11日から14日にかけて、九州北部を“これまでに経験したことのない”豪雨が襲いました。

阿蘇乙姫では、7月11日0時から14日24時までに観測された最大1時間降水量が108・0ミ、最大24時間降水量が507・5ミとなり、それぞれ観測史上1位の値を更新するなど、九州北部を中心に断続的な雨が続き、この大雨は、河川のはん濫、土砂災害をもたらし、熊本県内において、23人の尊い命を奪いましたが、中でも、土砂災害による被害は大きいものでした。

氷川町は東部に山林、丘陵



地を面しており、土砂災害発生の危険性がある土砂災害危険箇所が51箇所存在します。

梅雨・台風の季節が訪れるとき、土砂災害の恐れが増してきます。万が一の時にどのような対処すればよいのでしょうか。今月は土砂災害対策について、考えてみましょう。

## 今月のイチオシ!



### 守ります 火の用心

勝専坊学園幼年消防クラブ結成式

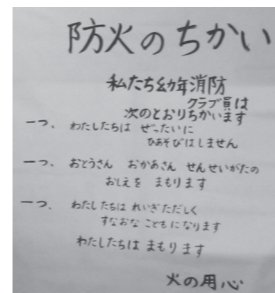
5月13日、竜北さくら幼稚園で、勝専坊学園幼年消防クラブ結成式が行われました。幼年消防クラブは幼年期から火に対する正しい知識を身に付け、火災を予防するとともに、地域の防災の担い手として育成することを目的としています。

現在、氷川町内では、幼稚園、保育所単位で組織された7つのクラブが活動を行っています。

結成式では、八代広域行政事務組合小島秀昭消防長より、クラブ旗が授与され、「地域の皆さんに火の用心を呼びかけてください。この中から消防士を目指してくれる子どもがいることを期待します。」と話されると、園児たちは、「防火のちかい」を元気に宣誓してくれました。



▲クラブ旗の授与



▲防火のちかい

## CONTENTS

2 もくじ/今月のイチオシ!

3 特集

自分の命は自分で守る  
土砂災害に備えて

6 各課(局)の主な業務

8 平成25年春の叙勲 受章者紹介

9 新嘗祭(献穀事業)

10 氷川町農業元気づくり支援事業実施者募集

11 農業委員会だより

12 すくーらいふ ～先生紹介～

15 まちのトピックス!  
絵巻物寄贈/ヘラブナ釣り大会/常葉保育所い  
ちご祭り/町内小学校交通安全教室

16 6月カレンダー  
行事予定表/休日在宅医院/まちへのホットライン

18 ご存じですか? 「国保高額療養費」

19 定期予防接種のお知らせ

20 けんこうだより

21 こころの健康コーナー/認知症キャラバンメイトだより

22 公共下水道への早期接続を!

23 ひかわスポーツクラブだより

24 立神峡里地公園だより

25 町民文芸

26 ぐらしの情報

31 伝言板/ひとのうごき

32 ひかわっ子写真館/有佐駅前団地住宅入居者募集/  
編集後記